

誕生学アドバイザー静岡県講師会
代表 山田とも子

小中学校における誕生学® プログラム協働事業



1. 事業の目的

- ・ 公立小中学校における人権、生命観を啓発する学習機会の創出。昨今、いじめや自殺防止の授業に取り組む小中学校において地域で活動する講師と連携した「いのちの授業」を行う機会とする。
- ・ 誕生学® は、子どもから大人まで全世代に妊娠出産の仕組みを通して、いのちの誕生と生まれる力の素晴らしさを伝える生涯学習プログラムである。生まれてくる力、産みゆく力、いのちをつなぐ力について各学齢にあわせた伝え方をし、自己肯定感を高める機会とする。
- ・ 各地区の子育て支援団体や育児サークルよ

り乳幼児親子を紹介いただき、赤ちゃんゲストとの交流も実施。核家族で親戚や近所付き合いの希薄な昨今の小中学生が乳幼児親子と交流する場を設ける。毎日の育児に忙しい乳幼児の母親にとっても、交流を経験して、いずれ我が子が小中学生になるであろう姿をイメージする機会となる。

2. 事業の実績

県内6市（12小学校1中学校）計13校にて誕生学アドバイザーがいのちについての出前授業を実施した。（実施校一覧参照）希望する学校には、乳幼児とその母親が赤ちゃんゲ



NO.	学校名	対象	生徒人数	教員や 保護者 など参加人数	実施日
1	静岡市立服織西小学校	5・6年生	38	6	12/3
2	静岡市立蒲原東小学校	6年生	47	9	12/9
3	静岡市立大里東小学校	5・6年生	89	11	10/10
4	富士市立原田小学校	3年生	67	13	11/28
5	富士市立岩松北小学校	4年生	119	14	12/2
6	富士市立富士川第二小学校	4年生	54	2	11/28
7	富士市立吉原第三中学校	中学1年生	80	34	12/20
8	富士宮市立富丘小学校	4年生	129	7	11/29
9	富士宮市立富士根南小学校	4年生	160	8	11/26
10	三島市立北上小学校	5年生	65	7	10/28
11	三島市立中郷小学校	4年生	72	4	12/4
12	島田市立神座小学校	4～6年生	52	25	11/14
13	藤枝市立大洲小学校	2年生	78	8	12/10
計	13校 14講座		1050	148	

ストとして来校し、交流する機会も設けた。

時期：平成25年10月10日～12月20日

参加人数：児童生徒1,050名、教職員・参観保護者など148名

赤ちゃんゲスト交流：実施5校

参加した乳幼児親子：21組

連携・協働した団体名等：母力向上委員会、バディプロジェクト、きつずねっと

3. 事業の効果

県内の学校現場では、まだ広く知られていない誕生学®出張授業を13校で実施できたことは当会としても大きな一歩であった。講師が出張し、いのちや人権について各学年に分かりやすい言葉で伝える事ができた。いのちやうまれるということに興味深く受け止めることができたことが、感想文などからも伺える。学校現場側としても、校外の講師が授業、その後の赤ちゃん交流授業もコーディネー

トし、担任教諭が生徒の家庭環境なども配慮した声かけをするなどお互いの専門を活かし合う機会となった。2～3学期に各小学校高学年対象に行われている学校保健委員会への導入した事例が、学校側からも好評だったようだ。

誕生学授業と赤ちゃん交流は、新聞紙面へも掲載された。赤ちゃんゲストとして参加した乳幼児親子からは、交流授業後「楽しかったので、また来校したい」との声が多数聞かれた。学校現場と講師と地域の乳幼児親子が





連携し、生徒たちが目を輝かせて授業に参加してくれた事に、この事業を継続していくことの重要性を感じた。小中学校で7～15歳の児童生徒を対象にした人権、生命観、男女共同参画の啓発事業を行った意義は大きかったと考える。

4. 参加者の感想

■小学生より

・いのちの道だけでなく、いのちのまどからうまれる人もいるときいてびっくりしました。(小2)

・「いじめるためにうまれた命はない」「いじめられるためにうまれた命はない」という言葉が一番心に残りました。(小5)

・10歳になると半分大人、9歳のぼくは10歳になるのが楽しみ。いのちはこれからもっと大事にしなければいけない。大切にします。(小4)

・大人になっても安心できそうです。早く大人になって自分の子どもを見てみたいです。(小4)

・今回の授業で、自分の命はもちろん家族との関わりも大事にしたいと思った。(小6)

今までたんじょう日はプレゼントをもらったり、ケーキを食べるだけだと思っていたけれど命が誕生した大切な日だということがわか

りました。赤ちゃんとのふれあい交流も楽しみです。(小6)

■中学1年生より

・聞く前は「いのちは大切」といわれても、なにが大切なの？と思っていましたが、今日の話を聞いて、「いのちは私の一生を守るもの。大切なものだな～」と思いました。

・聞く前は、ちょっと恥ずかしい話をするのはいやだな～と思ったけど、すぐくたになる話だった。たしかに、いじめられるためやいじめるために生まれてきたんじゃないよねってなっとくした。命は1つしかないから、これからの人生は自分の命、家族の命、友達の命を 今よりももっともっと大切にしていこうと思いました。そして、この世界に必要な命なんてない！と思いました。

■先生方より

・かなり具体的で驚きましたが、夢物語でなく科学的に話をされていてなおかつ語り口が柔らかで良かったと思いました。

・担任や養護教諭でないゲストティーチャー



の良さがあると思います。子どもたちは真剣に話を聞いていました。

- ・家庭が複雑な子もたくさんいますが、それぞれがとてもよい感想を持っていました。自分の命、他人の命を大切にできる子が一人でも増えてくれると良いと思います。

- ・いのちの道やいのちの窓という言葉が良かったです。一人一人の違いについても配慮があったことがとても良かったです。

- ・子どもたちの後ろで保護者の方々の真剣な表情、時折涙を流す姿がとても印象的だった。いじめで命を絶つ子どもが増えている。そんなニュースが絶えない中、このような話を聞き、それを伝えていくことは教師としての大きな使命だと思う。命を大切にしてくれる子どもが一人でも増えてくれると嬉しい。

■参観保護者より

- ・聞く耳をもって楽しく参加していた。人は皆自分の原点を知りたいのだと思いました。いのちのお話はとても必要だと思うので毎年続けていただきたい。

- ・自分が娘を出産した時のことを思い出しました。命の大切さを改めて感じ、いじめなどのつまらないことにより命を落とすことのないよう育てていきたいと思いました。これまでも誰かの「死」があった時に、よく話をしています。月に一度のペースでアルバムを開いて娘の関心のある話に応えたりもします。この先、どのような質問が飛び出すのかわかりませんが、一生懸命答えたいと思います。ありがとうございました。

- ・子どもがこの年になっても育児に行き詰る



ことがあるが、（お話をきいて）自分も誕生を喜び、愛情を持っていたんだと思いたすことができた。子どもに対してもなかなか上手に性教育（誕生について）ができなかったが、今日の講演を聞いて、より詳しく理解してくれたのではないかなと思う。

- ・子どもが生まれた時のことを思い出し、胸が熱くなりました。家庭でももっとオープンに話をするべきテーマであっても良いと思いました。

- ・これこそ、あるべき「性」の教育だと思います。家庭での教育のよいきっかけになりそうです！

■赤ちゃんゲストとして来校したお母さんより

- ・いつも家で母子二人なので、小学生のお兄さんお姉さんに遊んでもらってとても楽しそうでした。普段体験できない事を体験させていただき、ありがとうございました。

- ・小学生から絵本を読んでもらったり、だっこしてもらったり、子どもたちもとても嬉しそうでした。4年生であやしたり、だっこしたり、お兄さんお姉さんらしい事が上手にできていて驚きました。



乳児と触れ合う児童たち—静岡市清水区の蒲原東小

赤ちゃん優しく抱っこ

命の大切さや子育て学ぶ

蒲原東小

命の大切さや子育て
について理解を深めて
もらおうと誕生学アド
バイザー県講師会は9
日、静岡市清水区の蒲
原東小で6年生約50人
や妊娠出産の仕組みを
学ぶことで、児童の自
尊感情や生まれてきた
ことへの肯定感を育む
のが狙い。本年度のあ
ざれあ地域協働事業の
一環。

講話では、同会所属
の誕生学アドバイザー
滝和子さん、同区草ヶ
谷IIを講師に招き、出
産や人間が誕生する際
の生命力などについて
学んだ。触れ合い体験
では、近隣の乳幼児と
母親4組が同校を訪
れ、児童たちは母親に
教わりながら、赤ちゃん
を抱いたり、あやし
たりした。初めて乳児
を抱いた工藤すずさん
(12)は「うまく抱ける

か不安だったけど、優
しくするよう気を付け
た」と話した。

12/1 静岡新聞

12月1日(土曜日)

虎争

戸口

飛介

屋乳



虎次朗ちゃんとの触れ合いを楽しむ生徒

富士市立吉原三中

命の尊さ理解へ

吉原三中で「誕生学」講座

富士市立吉原三中の
1年生が20日、妊娠出
産や命の誕生の仕組み
を学ぶ「誕生学」プロ
ラムを同校で受講し
命の尊さへの理解を深
めた。

講師は、誕生学アド
バイザー県講師会の小
野美智代さん(助)同
市出身。胎児が胎内
で指しゃぶりの練習を
したり、狭い産道をす
み通って産まれること
を紹介し、生まれてく
る力の大きさを説
いた。生徒は市内の木
下泰蔵さん(38)の出産

の経験談にも耳を傾
き、次男の虎次朗ちゃん
は「思ったより柔
らかくてかわかった
と笑顔を見せた。

静岡県助成事業 平成25年度あざれあ地域協働事業

誕生学®プログラムを 学校の授業へ取り入れてみませんか？

誕生学は、子どもからおとなまで全世代に妊娠出産の仕組みを通して、いのちの誕生と生まれる力の素晴らしさを伝える生涯学習プログラムです。誕生学アドバイザーと地域の乳幼児親子が、出前講座に参ります。



誕生学アドバイザーによる授業とは

1 講座 約 60～90 分

自分が誕生したときに、自分が発揮した生命力を解説パネルや映像で説明し、部位名称の説明ではなく「生まれてきてよかった」と自尊感情を持つ機会にします。地域の乳幼児親子を同伴し、交流する時間を設けます。保護者や地域の皆様も参観していただき、誕生という視点から、各世代が自己や友人、家族や自分の将来を見つめ直す機会とします。

誕生学プログラムの小中学校での授業事例

- ・ 小学二年生の生活科と連携授業、低学年向け誕生学プログラム
- ・ 小学四年または五年生、二分の一の成人式との連携授業
- ・ 中学生、二次性徴期についても言及する誕生学授業
- ・ 道徳や総合学習、いのちの授業の時間として

静岡県内でも、学校やPTA、家庭教育学級からのご依頼で実施しています。

公益社団法人誕生学協会 www.tanjo.org

誕生学協会は、いのちの大切さに関する知識の教育及び普及を行う団体です。ただ妊娠出産のしくみの学習をするのではなく自尊感情を育むことも目的としています。生まれてきたことの肯定感覚が薄いと望まぬ妊娠や性感染症になるなど、自分のからだを守る意識も薄くなります。子どもたちの存在を受け止め、自己有能感を育て、いのちを大切に作るセンスを育みます。

2005 年より団体として講師育成や授業普及活動を始め 2011 年公益社団法人として認可されました。

誕生学アドバイザーとは、公益社団法人誕生学協会の認定資格で助産師や産婦人科医による技能審査を修了しています。

事業の流れ

9 月末まで 県内で希望校を公募

10 月初旬 実施校を決定し通知

10 月 地域の誕生学アドバイザーから実施校へ連絡。日程や授業についての打ち合わせ

10～12 月初旬 誕生学授業



公益社団法人誕生学協会 関東甲信越北陸支部
主催：誕生学アドバイザー静岡県講師会
共催：NPO 法人静岡県男女共同参画センター交流会議
協働：母力向上委員会、パディプロジェクト

共同参画ワーキンググループ

True Colors Planning

(トゥルー・カラース・プランニング)

代表 園部真由美

僕らの家庭科

～職人（プロ）に習う暮らしのコツ～



1. 事業の目的

目的：

若手男性の職人（プロ）を講師に招いた家庭科講座シリーズ。性別役割分業やジェンダーの壁を自然なカタチで崩しつつ、新しい「家庭科」のあり方を体験。実生活に役立ててもらおう。

コンセプト（チラシ掲載）：

今輝いている島田の若手男性職人が講師陣！それぞれの確かな技や知識はさることながら、人情や心意気にふれて気持ちも温くなる家庭科の授業。結婚や子育てで新しく家事を始める方、第二の人生や介護であらためて家事に挑戦したい方など、男女・年齢問わずどなたでも大歓迎！家事ってこんなに楽しいんだ！カッコいいんだ！を実感。参加者との交流も楽しみながら一緒に学ぼう。

2. 事業内容

実施内容：

【DAY 1】

1 時間目 「ダシ取ってるか〜い？」

いまさら聞けない、本格的ダシの取り方

講師 藤田嘉士さん（海産物処 ふじ田）

2 時間目 ダシを使って絶品おろしそば！

講師 鈴木徹也さん（細島屋 花水木）

【DAY 2】

3 時間目 抱きしめたくなるMY座布団作り

講師 宮地伸芳さん（寝装寝具 みやち）

4 時間目 美しいアイロンの掛け方

飾っておきたくなるYシャツ

講師 富岡雅伸さん（TOBIYAN 登美屋）

実践方法：

講座＆ワークショップスタイル

実践日時・場所：

【DAY 1】平成 25 年 10 月 31 日（木）

9:30 ～ 12:00（試食含む）

プラザおおるり 2 階 栄養指導室（講座）

3 階 和室（託児）

【DAY 2】平成 25 年 11 月 6 日（水）

9:30 ～ 12:00

プラザおおるり 1 階 第 1 多目的室（講座）

2 階 第 2 多目的室（託児）

対象者：

中高年男性、子育て中の男女等どなたでも

連携・協働する団体名等：

後援 島田市・島田市教育委員会

期待した効果：

・参加者はおそらく、子育て中の母親や退職された男性等が多い。性別・年齢層の違いを越えて、共に同じ場所・テーマで学び合える機会にしたい。

・講師は、地元島田の男性職人に限定。プロの技を間近に見ることで、リアルに「技」への関心を深めてもらう。その技術（コツ）の一部を実践していただくことで家庭科（＝生活実

践)への興味を深めてもらう。特に年配男性には、きっかけ作りとして参加しやすいと考える。

- ・また、地元の若手職人が頑張っている様子を知ってもらい、参加者にも町の活性化への意識を高めてもらいたい。
- ・講座中は、子育て中の母親、年配男性を混ぜて班を構成。講師(若手男性職人)が班を回り、指導・交流・会話してもらう。「疑似家庭」的雰囲気演出し、新しい家庭像のあり方を経験してもらう。

3. 事業実績

参加人数：

【DAY 1】

22名(男性7名、女性15名) 託児3名

【DAY 2】

21名(男性5名、女性16名) 託児2名

4. 事業詳細

【DAY 1】

アイスブレイキング

- ・性別・年代バラバラに参加者を班分けし、「疑似家庭」を作る。
- ・初顔合わせのためアイスブレイキングを工夫。名札に下の名前をひらがな書きで用意。各々のテーブルで自己紹介とハイタッチをした後、班(家族=疑似家庭)の苗字を決める。



全体で True Colors タウンを作る。

授業

- ・藤田さんから鯉節でダシの取り方を教わり、そのダシを使い鈴木さんから「かえし」と「そば汁」作りを習う。ネギやしめじなど具を炒め、そばをゆで、温かい「僕らの家庭科オリジナル」「みぞれそば」のできあがり。試食。

【DAY 2】

アイスブレイキング

- ・元の6班を、2グループに分け(=町内に見立てる)

授業

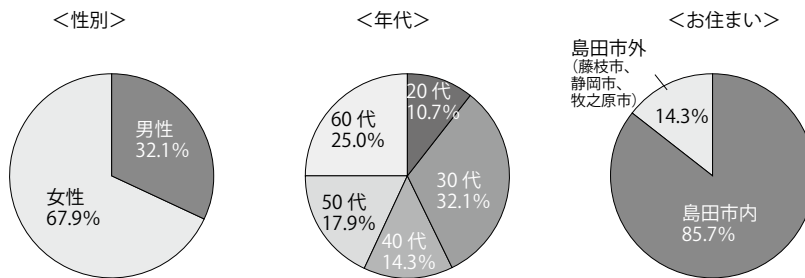
- ・綿をたたんで重ねて角を作り外袋に詰め、縫いかがる小座布団作り。
- ・Yシャツを持参し、洗濯表示の読み方を学び、コツを聞きながら、アイロン掛けを実践。
- ・お茶コーナーを設置。花やおやつでテーブルセッティング。講座の合間のしばしの交流の時間とし、ご近所付き合いを演出。

5. 事業の効果

- ・「ダシの取り方・味を知りたい」「ためになりそう」という理由で講座に参加した人が多かったが、多世代との交流、職人の技、自分で作ったことの達成感、地域の若い職人が頑張っていることなど、たくさんの思いを感じてくれた。
- ・「楽しい!」「面白い!」と笑顔が多かった。ぜひ次回も開催して欲しいと要望があった。
- ・DAY1を終えた参加者から次の会でこの繋がりが終わるのがもったいない、何かネットワークを作りたいと要望。DAY2開催時に希望者のみで「僕らの家庭科クラブ」というネットワーク参加者を募集。希望者16名と事務局2名の連絡網を作成し、後日配布した。

6. アンケート集計結果

Q1. あなたの性別、年代、お住まいを教えてください。



Q2. グループ内の家族と、仲良くなれましたか。(○はいいくつでも)

項 目	DAY1	DAY2
1. アイスブレイキング（自己紹介など）が楽しかった。	52.2%	28.6%
2. 仕事の分担・助け合いができた。	73.9%	14.3%
3. いろんな人と話をした。	60.9%	64.3%
4. 他世代との交流ができた。	73.9%	64.3%

Q3. 「僕らの家庭科」を受講しての満足度 (%) は？

平均 101.4%

知りたい、勉強したい。

・今後また機会があれば出席したい (4)。

Q4. 感想・意見など自由記述より

- ・楽しい企画をありがとうございました (9)。
- ・勉強になり、とても楽しかった。満足な時間だった (3)。
- ・座布団が、あんなに奥深いものだということを知った。
- ・難しさと手間を実感。昔ながらの作りの座布団に愛着がわいた。
- ・毎日忙しいので家事や料理を簡単に済ませているが、家族には体によいもの、本当においしいものを食べさせたいという意識を再確認した。
- ・若い方々の熱意を身近に感じ、地産地消を心掛けたいと思った。
- ・いきなり知らない方と家族のように楽しめるのも新鮮だった。交流になった。
- ・違う世代にふれ合えてよかった。
- ・自分で作るというもだが、職人の手際をこの目で見るのができ、とても心を打たれた。
- ・せっかくこの場で知り合いになれたので、ネットワークを形成できるとよい。
- ・とても楽しかった。別の分野の職人の技も

7. 事業を終えて

「僕らの家庭科」は初日 DAY1 から参加者がいきいきとした表情でコミュニケーションし、世代・性別に関わらず、楽しみながら取り組んでいたのが印象的だった。

また職人技を間近で見て学べる機会に参加者は大変真剣だった。明るく一所懸命な若手職人、その生き様すら感じる一つひとつのプロセスや技。意味や思いが伝わるごとに参加者たちは感心していた。特に DAY2 では、男性参加者が慣れない手つきでアイロンや針を持ち、四苦八苦しながらも充実した表情を見せた。講師と参加者ではなく、ある種男同士の真剣勝負な面持ちさえあった。

2 日間 4 時間の授業を通して感じたのは、教える側・学ぶ側の「伝えたい」「学びたい」気持ちが相互作用し膨らんでいったことだ。人としてそれぞれの思いやハートが感じられたからこそ、予想を越えた充実の展開になっ

たのではないか。そこはもう「男女」とか「性別役割分担」云々ではなく、リアルな実感と懸命さが満ちていた。主催者としても心が熱くなった。参加者たちが「家事」を新しい感覚で受け止め、子育てや介護を含めた実生活での「担いあい」の実践に繋がれば本当に嬉しい。

今回初の助成事業だったが、大変勉強になった。これからも一人ひとりの可能性や多様性を互いに尊重し発揮しあえる社会、"True Colors(=本来の自分らしさ)"が輝く社会を目指し、活動していきたい。



True Colors Planning facebook ページ



平成 25 年 11 月 1 日 静岡新聞朝刊



平成 25 年 11 月 1 日 中日新聞朝刊

僕らの家庭科アルバム

DAY1



藤田さんの本格的ダシの取り方



鈴木さんのそばの湯切り指導



調理実習中
ほんとにいい笑顔！



大好評！
オリジナルレシピ「みぞれそば」

DAY2



みんな真剣・・・



宮地さんの中綿折り指導



アイロン掛け姿、カッコいい！



ほっと一息 交流タイム



富岡さんのアイロン掛け指導

静岡県助成事業

平成25年度 あざれあ地域協働事業

プロ

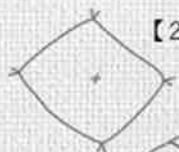
【若手職人に習う暮らしのコツ】

僕らの家庭科

家のコトっておもしろい、家のコトって奥深い、家事からみえる新しい暮らし♪

DAY1 平成25年10月31日木

- 時間 9:30～12:00〈受付 9:20～〉
- 会場 島田市総合施設 プラザおおるり 2F 栄養指導室
- 【1時間目】 「ダシ取ってるか〜い？」いまだ聞けない本格的ダシの取り方
講師 藤田嘉士さん〈海産物処 ふじ田〉
- 【2時間目】 ダシを使って絶品そば！
講師 鈴木徹也さん〈細島屋 花水木〉



DAY2 平成25年11月6日水

- 時間 9:30～12:00〈受付 9:20～〉
- 会場 島田市総合施設 プラザおおるり 1F 第1多目的室
- 【3時間目】 抱きしめたいMY座布団作り
講師 宮地伸芳さん〈寝装寝具 みやち〉
- 【4時間目】 美しいアイロンの掛け方 飾っておきたいYシャツ
講師 富岡雅伸さん〈TOBIYAN 登美屋〉



共同参画ワーキンググループ

True Colors Planning 〈トゥルー・カラーズ・プランニング〉

「True Colors」とは、「本来の自分らしさ」の意。

性別・年齢にかかわらず、それぞれの可能性や能力が発揮され、個性が尊重される社会づくりを目指し、活動しています。

<http://tcplanning.exblog.jp/>

TrueColorsPlanning

■主催 共同参画ワーキンググループ True Colors Planning ■共催 特定非営利活動法人 静岡県男女共同参画センター交流会議 ■後援 島田市 / 島田市教育委員会

concept

今輝いている島田の若手男性職人が講師陣!それぞれの確かな技や知識はさることながら、人情や心意気にふれて気持ちも温かくなる、家庭科の授業です。

結婚や子育てで新しく家事を始める方、第二の人生や介護であらためて家事に挑戦したい方など、男女・年齢問わずどなたでも大歓迎!家事ってこんなに楽しいんだ!カッコいいんだ!を実感。参加者との交流も楽しみながら一緒に学びましょう。

DAY1

10/
木 31

- 会場
島田市総合施設 プラザおおるり
講座|2F栄養指導室
託児|3F和室
- 持ち物
エプロン、三角巾、布巾



1時間目

「ダシ取ってるか〜い？」
いまさら聞けない本格的ダシの取り方

第5の味覚「うま味」。多彩な「うま味の世界」を体感!!
あなたももうダシを取らずにいられない…。

講師 | 藤田嘉士さん〈海産物処 ふじ田〉



2時間目

ダシを使って絶品そば!

冴えた技からうまれたオリジナルレシピ。簡単で旨い
そばつゆ作りに挑戦! 祝・ホームそば屋開店!?

講師 | 鈴木徹也さん〈細島屋 花水木〉

DAY2

11/
水 6

- 会場
島田市総合施設 プラザおおるり
講座|1F第1多目的室
託児|2F第2多目的室
- 持ち物
はさみ、アイロンをかけたいYシャツ
エチケッ卜ブラシ、ホコリ取り(あれば)
- 服装
ズボン(ジャージやGパンなど)
※縮くずのつきにくいもの



3時間目

抱きしめたくなるMY座布団作り

ちょうどいい小座布団。本当はお尻に敷くけれど、
この“ふかふか”抱きしめたい♡もちろん枕にもGood!

講師 | 宮地伸芳さん〈寝装寝具 みやち〉



4時間目

美しいアイロンの掛け方
飾っておきたくなるYシャツ

「苦手で面倒」がガラリと変わる!きっとアイロン掛けが
至福の時間に。仕上がり、うっとり…。

講師 | 富岡雅伸さん〈TOBIYAN 登美屋〉

- 参加費 2日間 1,000円(試食・材料費込み)
両日参加の方優先
- 会場 島田市総合施設 プラザおおるり
〒427-0042 静岡県島田市中央町5-1
- 定員 20名 要事前申し込み
無料託児あり(お問合せください)
- 対象 中高年男性、子育て中の男女など、どなたでも
- 申込み締切 平成25年10月17日(木)

■ お申込み・お問合せ先

共同参画ワーキンググループ **True Colors Planning**

〈ツール・カラース・プランニング〉

電話またはメールにてお申込みください お申込みの際は氏名、住所、電話番号をご連絡ください

☎ 0547-34-2828 〈高杉〉

0547-41-9382 〈園部〉 受付時間 9:00~18:00

✉ E-mail truecolorsplanning@gmail.com

右のQRコードをケータイで読み取ってください



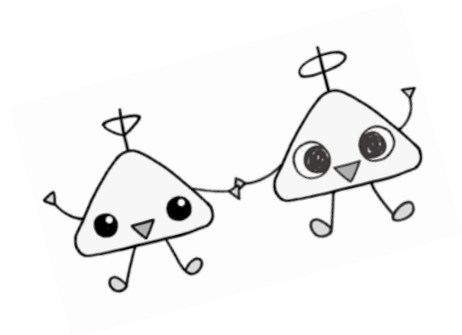
「あざれあ地域協働事業」 事業実施説明会

2013 年 7 月 15 日 (月・祝)

あざれあ 3 F 生活関連実習室



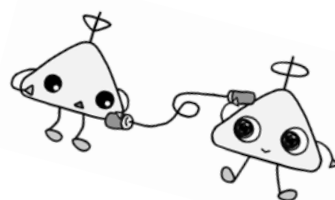
事業が採択された 12 団体の代表が集まりました



ママのお仕事が終わるまでお絵描きして待ってます



会議のあとは名刺交換で、ネットワークを広げました



みしま女性史サークル
代表：大村洋子

「人生、いろどり」 上映会&ミニ講演会



1. 事業目的

三島市内で七草の栽培をし、全国へ発送している農家の人にミニ講演をしてもらう。講演の後、「人生、いろどり」の映画を上映する。みかん産業の衰退した町で葉っぱビジネスを立案した若い男性（農協職員）に老婦人たちが賛同し、行動を始める。紆余曲折しながら町に潤いを取り戻すという映画は男性と女性が共同で仕事する素晴らしさを実感してもらえる。

2. 事業内容

事業内容：映画「人生、いろどり」上映会およびミニ講演会

実施方法：事前に入場整理券を購入してもらい、ミニ講演会と上映会を行いました。

実施日時：平成25年11月10日（日）13：00～16：00

実施場所：三島市民生涯学習センター3階講義室



対象者：一般県民、一般市民

連携・協働団体：三島市企画政策課

3. 事業の実績

三島市民生涯学習センター3階講義室において、静岡県男女共同参画センター交流会議代表大川須津子様、三島市政策企画課長谷川博康課長のご挨拶の後、内藤秀一さんより七草の栽培についてミニ講演をしていただき、「人生いろどり」の上映会を行いました。

入場者数：男性25人 女性114人 計139人

4. 事業の効果

30年来、七草の栽培をしている内藤秀一さんのお話は、当初100パックだった七草は現在では20万パックとなり、12月28日から1月5日まで多くのアルバイトを雇って作業している。七草の栽培は作物がうまく育たないというリスクもあるという苦労、また全国の同業者との交流についても話されました。内藤秀一さんのミニ講演は、次の映画「人生、いろどり」と相通ずるところがありました。

徳島県の山間にある過疎地でつまもの（葉っぱ）ビジネスを立ち上げた女性たちが自分たちを変え、町を甦らせ、生きる喜びを未来につなげていく姿を描いた映画を上映しました。

今まで夫や子供のためだけに生きてきた 70～80 代の女性が、挫折を味わいながらもあきらめずに、自分が主役となる新しい人生を獲得し、生き生きと輝きだす姿は、私たちに女性の自立や個人の尊重の大切さなどを伝えてくれました。

＜アンケート調査結果＞

日時：平成 25 年 11 月 10 日（日）

13：00～16：00

場所：三島市民生涯学習センター 3 階講義室

出席者数：139 人（内訳：女性 114 人、男性 25 人）

うちアンケート回収数 120 人（内訳：女性 95 人、男性 25 人）

【自由意見】

- ・とてもよかったです。(60 代女)
- ・『いろどり』の勉強をしているところでした

ので、とても勉強になりました。(60 代女)

・男女共同参画はいまいち理解できません。(60 代男)

・参考になりました。(60 代男)

・自分の思い・やる気と、周囲の協力、理解が大切である。(50 代男)

・性差・差別という言葉と区別という言葉が混同している人が大変多いと思います。差別は絶対してはいけませんが、区別をしっかりとすることは非常に重要と考えています。男女の差別をなくそうと熱心に活動されてる方々にも、是非差別でなく区別という言葉を理解して活動していただきたいと思います。(60 代男)

・素晴らしい作品でした。ありがとうございました。春の七草の事業もすごいですね。(60 代女)

・七草も葉っぱもあまり今まできちんと見たり注目してきた訳ではありませんでした。い

	質問項目（＊主なもの	割合 (%)	女性	男性
1	「男女共同参画」という言葉を初めて聞いた人の割合	12.50	13.68	8.00
2	「女らしさ」「男らしさ」といった社会的・文化的・経済的につくられる性差を感じる人の割合	95.70	73.68	76.00
3	「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識にとらわれない人の割合	48.33	52.63	32.00
4	男女が社会で平等になるために最も重要と思われるもの(1 つ選択)			
	① 法律や制度を見直し、性差別につながるものを改める	8.33	10.53	0.00
	② 女性を取り巻く偏見、社会通念、慣習を改める	20.83	16.84	36.00
	③ 女性自身が経済力や知識・技術を身につけ、力の向上を図る	32.50	32.63	32.00
	④ 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスを充実する	14.17	16.84	4.00
	⑤ 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用する	3.33	3.16	4.00
5	「ワーク・ライフ・バランス」を知っている人の割合	27.97	30.11	20.00



講演会「七草の栽培」内藤秀一さん（内藤農園）

つでもどこでも、行動一つで何かを変えることができる、そう感じる事が出来ました。でも、身近にこんなにも魅力あふれるものがあるんだなと思いました。(20代女)

・もっと多くの方に見せていただきたい。老人会・女性の会、これからのPTAの会などで。(60代女)

・今日は、講演会・映画会ととても参考になりました。農業もアイデアからいろいろご苦労されて今の形となっていることを改めて思いました。今日素晴らしい企画をありがとうございました。(50代女)

・上勝町に行って、「いろいろ」の皆さんの視察をさせていただいたことがありますので懐かしく思い出しました。関係者と今も交流しており、今日のことも伝えたいと思います。(60代女)

・この世に生を受けた意味がよくわかり、これからも生き生きと人生を送りたいと思います。(60代女)

・よい映画を見せてもらいました。講座は聴いていません。(60代女)

・大変良かった。今回初めての参加でした。新しい人の参加が出来るようならアピールを工夫していただきたいです。(60代女)

・とてもよかった。勉強になりました。老いの坂頑張ります。(60代女)

・老後というものを考えてもリアルではないけれども、生きがいを見つけた老後の人生っていいなと思いました。そして、老後だけでなく、今を生きるのにも必要で私の周りの人に生きがいを作るきっかけや助けをしたいです。(30代女)

・映画を見て、人生が楽しくなってきました。(40代女)

・七草農家のお話が聞けて参考になりました。(40代女)

・みかんが不作でくちはてた村におとずれた新しいビジネス。携わった職員のつまものを作るというひらめき、はじめは周りに理解されないが、仲間・家族とのかかわりの中で挫折を味わいながら成長していくことが成功につながる。とても、いい成功例だと思いました。(40代女)

・とても良かったです。ありがとうございました。(50代女)

・いい映画をみせてもらい、感激しています。ありがとうございました。(50代女)

・大変良かったです。来年もお招きくださいますように。(60代女)

・映画を見るだけと思っていたので、あんまり興味のない話であんまりおもしろくなかった。それに遅れてくる人が多くてビックリ。(60代女)

・良かったです。(60代女)

・とても良かったです(七草の講座)。(60代女)

・大変良かったです。ありがとう。

・良かった。(60代女)

・「人生いろいろ」ととても感激しました。(60代女)

・ほのぼのとした気持ちになりました。感動

をありがとうございました。(60代女)

・七草栽培の内藤さんのお話も興味深かったです。七草を作ると苦勞も身近に伺えて良かったです。いくつになっても夢を持つことの大切さを知りました。(60代女)

・感動しました。(60代女)

・とても良かったです。地域で生きることの大切さを改めて考えさせられました。(60代女)

・この映画の内容については以前テレビで取り上げられた時に見ましたが、映画を見て改めて感激しました。映画の前のお話もとても良かったです。(60代女)

・映画久しぶりでしたが真剣に見てしまいました。年をとったからと思わず元気でやりたいと思いました。(60代女)

・たかが七草されど七草…興味深く講座をききました。ありがとうございました。(60代女)

・良かったです。また、出席したいと思います。(60代女)

・とても良い映画でした。(60代女)

平成25年度 静岡県助成 あざれあ地域協働事業
平成25年度 三島市男女共同参画推進講座

映画 人生、いろいろ

吉行 和子 富司 純子 中尾 ミエ 平岡祐太 村川絵梨 大杉 蓮 藤 達也

監督 御法川 修 主題歌 原 由子 上映時間 112分 irodori-movie.jp

四国一小さな町で起こった＜奇跡＞の実話

～何歳になっても夢は追いかけられる。人生に遅すぎることはない～

典型的な過疎地である徳島県・上勝町。不況に苦しむその町で、山で採れる葉っぱを料理の「つまもの」として販売。70代、80代の女性たちを主力にしたそのビジネスは、今では年商2億円を稼ぎ出すほどに成長し、町や人々は潤いを取り戻した。

長い人生の中で一度も主役にならなかったことのない3人の女性たちが、料理の脇役である「つまもの」との出会いを通じていきいきと輝きだしていく姿は、何歳になっても夢は追いかけられる、人生に遅すぎることはない、観る者に優しく語りかける。

キャストには、日本を代表する実力派の俳優が顔を揃えた。主題歌（原由子「ヘヴン」）が映画の余韻を盛り上げる。



ミニ講演

内藤 秀一 さん

(内藤 農園)

13:10～13:40

2013年11月10日(日) 13時 (開場 12時30分)

会場 三島市民生涯学習センター 3階 講義室

★ 入場整理券(1,000円)が必要です。

主催: みしま女性史サークル (問い合わせ: 大村 TEL・FAX 055-975-6516)

共催: NPO法人静岡県男女共同参画センター交流会議

三島市

もりうさ まちづくりカフェ
代表：足立美和

ママのイキイキ 応援プログラム



実施日時：

平成 25 年 11 月 10 日・11 月 30 日・
12 月 14 日 10:30 ～ 15:30

実施場所：

袋井市総合センター 4 階大会議室

参加者：42 名

連携・協働団体：

NPO 法人ふぁみりあねっと・オリーブ
biz・ワールドカフェ with しずおか

1. 事業目的

核家族化や地域のつながりの希薄化により子育てが困難となった現代、母親に対する社会的なサポートが非常に重要である。母親が、子どもや夫とのコミュニケーションを深めるためのスキルを学んだり、母でもない妻でもない自分を見つめるきっかけを持つことにより、楽しく心ゆたかな子育て、円満な家庭の形成ができるを考える。

「ママのイキイキ応援プログラム」は、子育て中の母親向けのコーチングをベースにしたコミュニケーション講座。子どもを怒る回数が減る、夫や姑にイライラすることが減るといった効果があり、結果的に心に余裕をもって子育てを楽しめる、円満な家庭を形成できるようになることが期待できる。母子関係だけでなく、夫婦関係、職場の人間関係にも役立つ内容で、女性の就労支援にもつながる。全

国で年間 150 回、累計 3 万人が受講。連続講座での開催により、受講者同士の交流が深まり、地域社会に貢献できる人材やグループの育成も期待できる。

2. 事業内容

● 11 月 10 日（日）10:30 ～ 15:30

午前「**聴く**」見つめてみよう、自分の気持ち。聴いてみよう、子どもの心。

午後「**承認 1**」自分をもっと好きになろう。自分の持つ基準に気づいていますか？

● 11 月 30 日（土）10:30 ～ 15:30

午前「**承認 2**」伝えてみよう、自分の気持ち。午後「**区別**」悩んでいること、それは本当にあなたの問題ですか？

● 12 月 14 日（土）10:30 ～ 15:30

午前「**価値**」自分の価値を掘り起こそう。そこから未来の私が見えてくる。

午後「**受講者交流会**」これからの子育てや自分について話そう。

受講料：1 講座 3,000 円（受講者交流会は無料）

託児料自己負担：1 講座 300 円

3. 事業の実績

「聴く」33 名 「承認 1」34 名 「承認 2」36 名

「区別」37 名 「価値」36 名 「受講者交流会」38 名



4. 事業の効果

「とにかく実践的な内容で、学んだ成果をすぐに感じられて嬉しかった」「視点を変えるヒントを得たことで、家庭や職場での人間関係が楽になり悩みが減った」という声が多かった。受講者の心に余裕ができ、自信が高まった。受講者は、袋井市、磐田市、浜松市、菊川市、焼津市、静岡市、沼津市から集まった。3日間の連続講座終了後、インターネット（Facebook、LINE）で盛んに交流が続いている。講座で自分の強みに気づけたり目標を持つことができ、子育て中でも積極的に行動しよう！子どもつながりではない「自分つながり」のネットワークを作っていこう！という意欲にあふれている。今後の学びの場として、あざれあの講座、協働先のオリーブ biz、ワールドカフェ with しずおかの講座を紹介していきたい。

<受講者交流会より>

- ・講師のエネルギッシュなトークに引き込まれた。心の底から笑って泣いて気持ちがスッキリした。学んだことが、言葉ではなく映像でよみがえる。すぐに実践したくてたまらない。
- ・子育てのヒントを得たいと思って参加したけれど、まずは自分自身と向き合うことが大切だと気づいた。ありのままの自分に自信を持つためのヒントがいっぱいだった。自分に自信を持つことができた。
- ・夫の言っていることが素直に聞けるようになった。今後、夫婦のコミュニケーションが良くなる！と希望が持てた。
- ・3日間の連続講座だったので、その喜びや発見したことを仲間と分かち合えるのが本当に楽しかった。夫や子どもから「おかあさん、いつもと違うね！」と言われて嬉しかった。思い切って受講して本当に良かった。
- ・ワーキングマザーとして念願の再就職を果

たしたものの、自宅と職場と職場・保育園をぐるぐる回るだけで物足りなさを感じていた。新たな目標を見つけて受講した仲間に宣言したので、一步を踏み出したいと思う。

- ・自分の母親や苦手な人との関係を見つめなおし、感謝の気持ちを伝えることができた。
- ・3日間でもとても視野が広がった。学んだこ

とを実践してしっかり身につけていきたいので、一緒に受講した仲間との交流を大切にしたい。

- ・再受講で参加した。以前とほぼ同じ内容を聞いても、子どもの年齢やその時にかかえている問題によって違う気づきがある。非常に奥の深い講座だと思う。

聴く コーチングで最も大切とされる「心から聴くスキル」を学んだ。子育てのゴールは何？なぜ怒ってしまうのか？不必要に子どもを怒らずに済むようになるだけで、気持ちが楽になれることが分かった。たくさんのロールプレイングがあり、受講者同士打ち解けることができた。



承認 1・2 相手の気持ちをしっかり受け止め、自分の気持ちを上手に伝えるにはどうしたら良いか？まずは、自分のもつ基準に気づく、そして、相手の持つ基準との違いを認めることが大切。そして、すれ違いを少なくするために出来ることがあると学んだ。

コミュニケーションは、どう伝わったかが全て。せっかくの想いも伝わらなければもったいない。忙しくても想いを伝えることは大切。いま自分は誰に感謝の気持ちを抱いているのか？に気づいて感謝の気持ちを伝えたいと強く感じた。受講者同士、上手な気持ちの伝えあいを通して交流が深まった。

区別 母親は、子どもを自分と一体化しがち。自分と子どもを区別することにより、子どもの自立につながるより良い関わりが出来ることを学んだ。

日常のいろいろな出来事を区別という観点から見ると見方が変わると知り目からウロコだった。特に、サポートとヘルプ、気遣いと遠慮などは、図解や実例での説明で分かりやすかった。

価値 最終回。周りに左右されず、自分らしい道を歩んでいくためのヒントを学んだ。子育てをしながら自分らしくイキイキと輝くために、子どもの頃に夢中だったことを振り返ったり、ワークを通して自分自身の価値観を見つめたりした。

いま出来ることを精一杯やろう！小さな一步を踏み出していこう！今後、受講者同士で励まし合って成長していきたい。

受講者交流会

前半は、楽器演奏が得意な受講者さんによるクリスマスコンサート。イキイキと演奏する姿に影響されて「私も昔やっていた趣味を再開しようかな!」という声が聞かれた。後半は、この講座が全国で200期開催されたことを振り返ってのスライドショーと受講しての感想を全員で発表しあった。今後、この講座を自分の地元で主催したい!という声も上がった。



●ママのイキイキ応援プログラム@袋井200期

コーチングをベースにした3日間講座。

母でも妻でもない「自分」を大切に
毎日の子育てや仕事をもっともっと楽しんで
いこう!という仲間ができました。

受講者同士の交流はもちろん、受講者がそれぞれ「自分つながり」で幸せな輪を作り、
家族、職場、地域でイキイキと活躍していくのが楽しみです♪

●講師

Happy Mammy プロデューサー

山崎洋実 (やまさきひろみ)

ひろっしゅコーチ

静岡県出身 小学生男児の母親

ママたちの元気と輝きを引き出すコーチング
の第一人者

年間150回のセミナー講師として活躍 延べ
3万人が受講

企業研修、自治体主
催講演の実績あり

日経新聞、朝日新聞、
AERA with Kids など
取材多数



平成 25 年度あざれあ地域協働事業 実施団体一覧

	開催地	団体名	代表者名	タイトル・テーマ	実施内容	実施日時
1	沼津市	アミーぬまづ	根上茂美	地域女性史制作	地域女性史制作・発行、振り返りの講座、交流会	11/20 (水)
2	静岡市	ウーマン・ラボ	有賀久美	産婦人科医講演会「いつか妊娠する女性へ」	講師：静岡レディースクリニック 内田医院長	11/10(日) 13:00～16:00
3	静岡市	NPOi-OLIVE	柴田弘美	セミナー「働き女子のほっとカフェ」	実践心理学(NLP)を学んだ講師によるコミュニケーション講座	10/11、11/22、 12/13
4	静岡市	NPO法人世界女性会議ネットワーク静岡	守屋秀子	『シニア女性のための防災手帳』制作	『シニア女性のための防災手帳』制作・発行・配布・インターネットを活用した発信	7月製作開始 12月初旬発行
5	静岡市	株式会社レ・サンク	田嶋清子	映画上映と講演会：デジタルアーカイブ、ワークライフバランスへの関心を高める	映画「ハーブとドロシー」上映と佐々木監督ミニ講演会、トークイベント	10/14 (月・祝) 13:00～16:30
6	沼津市	県東部文化交流会・和(なごみ)	岡田一子	講演会：父親、祖父に育児参加を啓発	講演会「イクメンデーとバーの子育て奮戦記」講師：久保田庄次さん(元裾野市男女共同参画推進委員)	10/20 (日) 13:30～15:30
7	静岡市	静岡エコセトラ	入江とし子	『私の生まれた国、私の住んでいる静岡～アジアの女性にフォーカス～』制作	静岡市周辺に住むアジア各国の女性にインタビューし、アジア女性の現状を冊子にまとめる	—
8	静岡市	特定非営利活動法人 Safety First 静岡	横山由佳子	デートDVセミナー全4回	"公開セミナー(全4回) 講師 上村茂仁さん(ウィメンズクリニック) 他"	8月～9月
9	県内各地	誕生学アドバイザー静岡県講師会	山田とも子	出前講座：小中学生に人権、生命観を啓発	小中学校に誕生学プログラム出前事業	9月～12月
10	島田市	共同参画ワーキンググループ トゥルー・カラーズ・プランニング	園部真由美	セミナー 男性が教える家庭科	地元の男性職人(プロ)に家庭科を習うことで性別役割分担やジェンダーの壁を壊す	10/31 (木) 11/6 (水) 9:30～12:00
11	三島市	みしま女性史サークル	大村洋子	映画上映「人生いろいろ」+ミニ講演会	映画「人生いろいろ」上映会+ミニ講演会(七草栽培農家のお話)	11/10(日) 13:00～16:00
12	袋井市	もりうさ まちづくりカフェ	足立美和	ママの笑顔で家族円満プロジェクト	子育て中の母親向けコーチング講座	11/10 (日) 11/30 (土) 12/14 (土)

平成 25 年度あざれあ地域協働事業 実施団体一覧

	団体名	実施場所	参加者数	対象	連携協働団体
1	アミーぬまづ	沼津市、清水町、長泉町	30 名	沼津市周辺に在住 在勤女性	長泉町ネットワークながいずみ 清水町地域女性史を学びたい女性の会 清水町・長泉町・沼津市
2	ウーマン・ラボ	静岡市	50 名	これから妊娠する 女性	オリーブ biz
3	NPOi-OLIVE	あざれあ 生活関連実習室	30 名×3 回 =90 名	働く女性	オリーブ biz ワールドカフェ with しずおか 茶話の会
4	NPO 法人世界 女性会議ネット ワーク静岡	県内各地に配布	発行部数 200 部	シニア女性	シニア女性が多いグループや団体・防災 関係の地域グループや団体・自治会など
5	株式会社レ・サ ンク	あざれあ 小ホール	50 名	学芸員、図書館 司書、一般県民	静岡市地域産業課、日本デジタルアーキ ビスト資格認定機構
6	県東部文化交流 会・和（なごみ）	千本プラザ大 会議室	50 名	沼津市民、一般 県民	沼津市他 3 団体
7	静岡エコセトラ	静岡市周辺	8 名 発行部数 800 部	日本を含むアジ ア女性の現状に 興味を持つ人	F A S（アジアを考える静岡フォーラム） 市国際交流協会
8	特定非営利活動 法人 Safety First 静岡	あざれあ	40 名	一般県民	アミーぬまづ（沼津市） まざーぶらす（静岡市）
9	誕生学アドバイ ザー静岡県講師 会	公募により県 内小中学校 6 校	480 名	小中学生	富士宮市母力向上委員会 静岡市バディプロジェクト
10	共同参画ワーキ ンググループ トウルー・カ ラース・プラン ニング	プラザおおる り	20 名×2 回 =40 名	平日午前中に参 加できる年輩男 性、子育てママ	染谷絹代
11	みしま女性史 サークル	三島市民生涯 学習センター 3 階講義室	150 人	三島市民・近隣 市町民	三島市中央婦人学級 自然食グループ香芽会 三島市内老人会 共催：三島市（会場費と講師料）
12	もりうさ まち づくりカフェ	袋井市総合セ ンター 4 階大 会議室	35 人	子育て中の母親 を中心に一般県 民	NPO 法人ふぁみりあねっと オリーブ biz ワールドカフェ with しずおか

平成 25 年度 あざれあ地域協働事業 実施要項

1. 趣旨

この事業は、県の委託を受けて、特定非営利活動法人静岡県男女共同参画センター交流会議（以下「交流会議」という）が実施する。交流会議会員をはじめ地域の団体（５の（１）～（４））が、地域の自治組織、民間団体、教育機関、企業、市町等と連携、協働して、県民の「男女共同参画」の理解を促進するために事業実施する。

2. 定義

この要項において「男女共同参画」とは、男女が性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮する機会が確保されることにより、社会の対等な構成員として自らの意思により職場、学校、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野における活動に参画し、ともに責任を担うことをいう。

3. 実施主体

各事業は交流会議との共催となる。

4. 事業内容

次の①～⑤のテーマで、（１）～（３）のいずれかの事業を実施すること。

- ①政策や方針決定の場における女性の参画拡大
- ②男女双方にとってのワーク・ライフ・バランスの実現
- ③男女共同参画推進による地域力の強化
- ④格差や貧困の視点を織り込んだ男女共同参画の推進
- ⑤その他、地域の男女共同参画推進に寄与すると認められるもの

（１）地域において男女共同参画を進める研修会、講演会、意見交換会等の開催

（ワークショップ、劇、ビデオ鑑賞と話し合い、パネル展示とトーク、絵本や紙芝居の制作と実演等）

（１ 会場 30 人以上・2 時間以上 程度）

（２）男女共同参画啓発誌等の作成・発行

（３）地域の課題解決に男女共同参画の視点を入れた調査・研究の実施

5. 募集対象団体

次の（１）～（４）に該当する団体

- （１）交流会議会員
- （２）県に登録している男女共同参画団体
- （３）交流会議会員と協働できる団体
- （４）（２）の団体と協働できる団体

6. 連携・協働先

地域の自治組織、民間団体、教育機関、企業、市町等

7. 募集事業数・・・10 事業程度

8. 事業費・・・・・・上限 15 万円（内容に応じ負担する）

計上できる経費は、謝金、講師旅費、一般旅費、印刷製本費、消耗品費、役務費（通信費等）、会場使用料等とする。

9. 実施時期・・・・・・平成 25 年 8 月～12 月

10. 募集締切・・・・・・平成 25 年 6 月 18 日（火）必着

11. 応募方法

希望者は、申請書に事業計画書、収支予算書等を添えて交流会議へ申し込む。

（１）提出書類各 1 部

ア「あざれあ地域協働事業」申請書（様式第 1 号）

イ 事業計画書（様式第 2 号）

ウ 収支予算書（様式第 3 号）

エ 実施団体の概要（様式第 4 号）

12. 選考基準

- （１）趣旨に基づくユニークな企画で、連携・協働先があり、各階層に広められるもの。
- （２）男女共同参画の推進が遅れている地域において優先的に実施することとする。

- (3) 地域、男女、年齢等がかたよらないよう考慮する。
- (4) 団体間の調整にも考慮する。
- (5) 政令市を活動区域とする団体については、政令市以外の団体・市町等と協働・連携するか、広域的な参加者が見込まれるような実施計画であること。

13. 決定

事業実施団体は、下記により決定し、通知する。・・・・・・7月1日郵送予定

交流会議代表理事、副代表理事、事務局長、交流会議事業委員、及び外部の審査員により、書類審査し、総務委員会において確定する。

14. 事業実施説明会

事業実施の決定を受けた団体を対象に、事業実施説明会を開催する。

※平成25年7月15日(月・祝) 午後を予定

15. 実践書の提出

事業実施日時が確定したら、下記書類を提出する。

「あざれあ地域協働事業」実践書(様式第5号)

(チラシ等がある場合は添付する)

16. 変更の承認申請

事業内容の変更(軽微な変更を除く)、事業を中止または廃止しようとする場合は、決まり次第下記書類(各1部)を提出し、交流会議代表理事の承認を得なければならない。

ア「あざれあ地域協働事業」計画変更承認申請書(様式第6号)

イ変更事業計画書(様式第7号)

ウ変更収支予算書(様式第8号)

17. 実績報告書の提出

事業完了後、下記により実績報告書類等を提出する。

(1) 提出書類

ア実績報告書(様式第9号及び報告書冊子印刷用原稿)

イ事業実績書(様式第10号)

(事業実績のわかるチラシ、写真、資料を添付する)

ウ収支決算書(様式第11号)

(2) 提出部数 : 各1部

(3) 提出期限 : 事業完了の日から起算して30日以内(厳守のこと)

18. 事業費確定通知

交流会議事務局において、収支決算書の内容を審査し、事業費確定通知書を交付する。

19. 事業費請求の手続

事業費の収支に関する帳簿を備え、領収書等関係書類を整理し、事業終了後、交流会議代表理事の指示に従い提出する。

(1) 提出書類 : 請求書(様式第12号) 1部 ※必ず押印すること

(2) 提出期限 : 事業費確定通知書発行日から起算して15日を経過した日まで。

20. 事業報告会

すべての団体の事業終了後、事業報告会を開催する。各団体は、事業報告会に1名以上出席し、詳細を報告する。※平成26年2月18日(火)午後を予定

21. 問合せ、書類提出先

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

特定非営利活動法人静岡県男女共同参画センター交流会議事務局

TEL:054-250-8147 FAX:054-251-5085

E-mail:epoca@azarea-navi.jp

あざれあ地域協働事業

テーマは男女共同参画！



お申込み・お問合せ

特定非営利活動法人 静岡県男女共同参画センター 交流会議 事務局

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1 あざれあ3F

TEL : 054-250-8147 FAX : 054-251-5085

E-mail : seminar1@azarea-navi.jp



携帯でのお問合せはこちらから ↑

※詳細は裏面をご覧ください。

- **趣旨** ● この事業は、県の委託を受けて、特定非営利活動法人静岡県男女共同参画センター交流会議（以下「交流会議」という）が実施するものです。

交流会議をはじめ地域の団体 が、協働して県民の「男女共同参画」理解促進のために
行う事業を助成します。

連携、協働先は地域の自治組織、民間団体、教育機関、企業、市町等です。

- **応募できる団体** ●

下記①～④の交流会議をはじめ地域の団体に限ります。

- ①交流会議会員
- ②県に登録している男女共同参画団体（「あざれあナビ」に掲載）
- ③交流会議と協働できる団体
- ④県に登録している男女共同参画団体と協働できる団体

- **事業主体** ● 各事業は交流会議との共催になります。

- **事業内容** ● A～Cの事業を a～e のテーマで実施してください。

- A 地域において男女共同参画を進める研修会、講演会、意見交換会等の開催
- B 男女共同参画啓発誌等の作成・発行
- C 地域の課題解決に男女共同参画の視点を入れた調査・研究の実施

- a 政策や方針決定の場における女性の参画拡大
- b 男女双方にとってのワーク・ライフ・バランス
- c 男女共同参画推進による地域力の強化
- d 格差や貧困の視点を織り込んだ男女共同参画の推進
- e その他、地域の男女共同参画推進に寄与すると認められるもの

- **募集数** ● 10 事業程度

- **事業費** ● 上限 15 万円

※計上できる経費は、謝金、講師旅費、一般旅費、印刷製本費、役務費（郵送費、宅配便代、テープ起こし料、チラシ・看板デザイン料等）、会議室等使用料、映画借り上げ料）

- **実施時期** ● 平成 25 年 8 月～ 12 月

- **募集締切** ● 平成 25 年 6 月 18 日（火）必着

- **応募方法** ● 申込み用紙（1～4）に必要事項を記入し、交流会議に送付。

※申請書類は「あざれあナビ」でダウンロードできます。

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1

NPO法人あざれあ交流会議「あざれあ地域協働事業」係

- **決定について** ● 選考委員会において書類審査を行い決定。結果は書面で通知します。採用決定後、7 月 15 日（月・祝日）午後に事業実施説明会・ミニ講座（パソコン）を行います。

- **補足** ●

- ①静岡市で実施する場合、会場は静岡県男女共同参画センターあざれあが望ましい。
- ②県に登録している男女共同参画団体（「あざれあナビ」参照）には企業も含まれている。
- ③平成 25 年度静岡県男女共同参画課「パワーアップ補助金」に採用された団体は除く。

事業の流れ

募集期間

5/18（土）～ 6/18（火）
初めて応募する団体は
お問い合わせください。

募集締切

6/18（火）必着
書類審査の上
決定通知発送

事業実施説明会＆ミニ講座
7/15（月・祝）午後

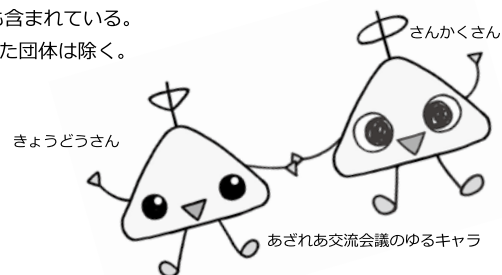
8 月～ 12 月
事業実施

実践計画書提出
事業費請求
終了後 1 か月以内

確定通知・精算

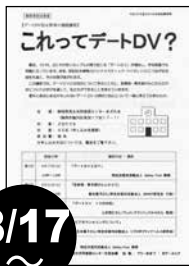
実践報告書作成
原稿と写真提出・校正

2/18（火）午後
実践報告会
実践報告書発行



平成 25 年度 あざれあ地域協働事業

セミナー・イベント



8/17
〜

これってデートDV?

日時：8/17(土)～9/21(土) 全4回
10:00～※9/8のみ13:00～
会場：あざれあ 対象：どなたでも
テーマ：デートDV防止啓発
定員：40名(申込み先着順)
参加費：無料
申込方法：fax054-238-4959 郵送 email
safety_first_shizuoka@yahoo.co.jp
主催：特定非営利活動法人 SafetyFirst 静岡



11/10
〜

産婦人科医からいつか妊娠するあなたへ

日時：11/10(日)13:30 受付 14:00 開演
会場：パルシェ 7F D会議室
講師：内田律子(静岡レディースクリニック院長) 参加費：1000円
申込方法：メールで氏名、住所、電話番号、メールアドレスを記入し下記までメール
ariga.mk@gmail.com
主催：ウーマン・ラボ



10/10
〜

誕生学プログラム

事業：県内小中学校約12校に公募し誕生学出前事業を行う。各実施校・日時はあざれあナビで告知
会場：各学校 参加費：無料
内容：妊娠出産の仕組みを通して、いのちの誕生と生まれる力の素晴らしさを伝える生涯学習プログラム
主催：誕生学アドバイザー静岡県講師会
問合せ：山田 (090-4869-4215)



11/10
〜

ママのイキイキ応援プログラム

日時：11/10(日)11/30(土)12/14(土)
10:30～15:30
会場：袋井市総合センター4F大会議室
講師：山崎洋実(ひろっしゅコーチ)
参加費：15,000円(3,000円×5回)
定員：先着40名
託児：先着10名程度 1講座300円
内容：子育てママ向けコーチング講座
主催：もりうさまちづくりカフェ
メール：mamaiki200@gmail.com



10/11
〜

働き女子のほっとカフェ

日時：10/11(金)11/22(金)12/13(金)
18:30～20:30
会場：あざれあ3F 生活関連実習室
参加費：3講座チケット：1500円
対象：女性先着30名
内容：野菜食べ比べ・カラーコーチング・日本茶でクリスマス
主催・申込み：NPO I-OLIVE メールで
kokoromaintenance@yahoo.co.jp
名前、参加希望日、参加人数、連絡先



11/10
〜

映画 人生、いろいろ

日時：11/10(日)13:00～
会場：三島市民生涯学習センター3F講義室
入場整理券：1000円
対象：どなたでも
内容：映画「人生、いろいろ」(出演 吉行和子・富司純子・中尾ミエ他)
講演会(講師：内藤秀一/内藤農園)
主催・問合せ：みしま女性史サークル
tel.fax055-975-6516 (大村)



10/14
〜

ハープ&ドロシー上映会

日時：10/14(月・祝)13:00～16:30
会場：あざれあ6F小ホール 入場料：500円
対象：どなたでも70名(申込先着順)
内容：映画上映と佐々木芽生監督をお招きしてのトークセッション(デジタル・アーカイブ、ワーク・ライフ・バランス)
申込方法：fax054-273-5503
主催・問合せ：株式会社レ・サンク
TEL 054-273-5500



10/20
〜

イクメンとバーの子育て奮闘記

日時：10/20(日)13:30～15:30
会場：千本プラザ大会議室 入場料：無料
対象：どなたでも50名(申込先着順)
講師：久保田庄次(裾野市里親の会代表世話人)
申込方法：氏名・電話番号を明記の上
fax055-963-0056
主催・問合せ：県東部文化交流会・和(なごみ)
TEL 055-963-0056



10/31
〜

僕らの家庭科

日時：10/31(木)11/6(水)9:30～12:00
会場：プラザおおるり
参加費：1000円(2日間、材料費込み)
対象：中高年男性、子育て中の男女など、どなたでも20名(申込先着順) 託児無料
内容：10/31 ダシを使ってそば作り
11/6 座布団作りとアイロンかけ
主催・問合せ：True Colors Planning
tel.0547-34-2828 (高杉)
fax.0547-41-9382 (園部)

冊子発行



「静岡在住の女性にフォーカス」

発行：静岡エコストラ
内容：静岡市周辺のアジア人女性へインタビューし、各地の女性たちのライフヒストリーやそれぞれの国での女性の置かれた状況などを聞き取る。身近な隣人であるアジア女性の現状を知るための資料になるだけでなく、彼女たちの目から見た静岡の女性の状況も合わせてレポートする。
協力団体：アジアを考える静岡フォーラム・SWOSの会・エコハウス

「シニア女性のための防災手帳」

発行：NPO 法人世界女性会議ネットワーク静岡
内容：いざという時の備え、被災時の対応、自分の身を守るための行動や連絡方法など、シニア女性を知っておきたい情報を具体的にピックアップし、分かりやすく説明する。

「駿東女性史・富士のふもとで」

発行：アミーぬまづ
内容：長泉町・清水町・沼津市1市2町の女性が、それぞれの地域に暮らす女性の人生を聞き書きし、その地域の歴史、風土に培われた現在の女性に繋がる女性の歴史を編む。
協力団体：ネットワークながいずみ・地域女性史を学びたい女性の会(清水町)

2/19
Wed.

助成金事業を行った
12 団体による
プレゼンテーション

次年度応募を
考えている人
はぜひ来てね！

「あざれあ地域協働事業」 事業報告会

平成 26 年 2 月 19 日 (水)

13:30 ~ 16:00

あざれあ 502 会議室

(静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1)

●採択団体 (事業詳細は裏面)●

みしま女性史サークル
NPO法人世界女性会議ネットワーク静岡
アミーぬまづ
静岡エコセトラ
ウーマン・ラボ
特定非営利活動法人 Safety First 静岡
株式会社レ・サンク
産生学アドバイザー静岡県講師会
県東部文化交流会・和 (なごみ)
もりうさ まちづくりカフェ
NPOi-OLIVE
トゥルー・カラース・プランニング

参加費 無料 (見学者は 10 名程度)

託児 1 歳半～未就学児
無料・先着 15 名まで
要申込 2/12 締切



問合せ・申込み先

主催 特定非営利活動法人
静岡県男女共同参画センター交流会議

◆参加ご希望の方は、下記にご連絡くださるか、当日
直接会場にお越しください。

TEL 054-250-8147

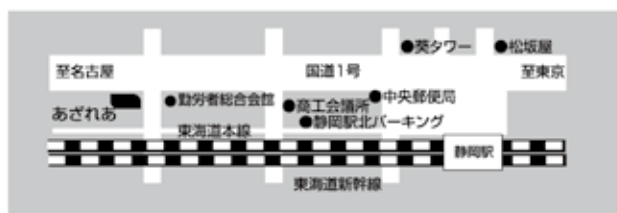
FAX 054-251-5085

メール epoca@azarea-navi.jp

ホームページ [あざれあナビ](#) 検索



<アクセス> JR 静岡駅から徒歩 9 分



平成 25 年度 「あざれあ地域協働事業」 実践報告書

平成 26 年 2 月 19 日発行

編集・発行 特定非営利活動法人 静岡県男女共同参画センター交流会議

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1

TEL 054-250-8147

FAX 054-251-5085

<http://www.azarea-navi.jp/>

メール seminar1@azarea-navi.jp

印 刷 株式会社竜南写植